



きらりいのちをめぐす
市民派・無所属・れいわ
野村 羊子 議員



子どもたちの健康を守る施設断熱改修を

答 大規模改修の際に施設の特長などを踏まえ可能な限り改修に努める

議員 学校行事は子どもの成長に欠かせない経験となるもの。コロナ禍で縮減したままの学校があるが、できる限り復活させることが望ましい。所見を伺う。

教育長 コロナ禍前に戻すとともに、コロナ禍の経験と工夫を生かし、目的を押しこめ、かつ子どもの自主的で実践的な活動としたい。

議員 夏季、冬季の学校施設は空調機をフル稼働しても快適な室温の維持が難しい。子どもたちの健康と快適性向上とともに温室効果ガス削減のためにも、学校や保育園、学童保育所等施設の最上階だけでも早急に

断熱改修すべきだ。
市長 既存施設の改修は、施設を閉鎖しての工事が困難であるため、大規模改修等の際に可能な限りの断熱改修に努めていきたい。



きらりいのちをめぐす
市民派・無所属・れいわ
石井れいこ 議員



誰も排除しないインクルーシブ教育を

答 人間関係づくりを大切にしながらチーム学校として取り組んでいく

議員 増え続ける「不登校」の理由は家庭だけにあるのではない。悩む親子のために学校がいつでも相談を受けられる体制や困ったことを言いやすい環境を整え、クラスの子どもも自分事として考えるようになれば排除や差別がなくなっていくと考える。所見を伺う。

教育部長 ご意見についてご感想するところだ。担任に気軽に話しかけられる人間関係づくりをはじめ、チーム学校として取り組む。

議員 高齢者や障がい者、子育て世帯など支援を必要とする人が交流できるコミュニティの場をつくるべきだ。月一回、小学校の空き教室を利用して昼食をふるまう多世代食堂を開催することを提案する。

健康福祉部長 一部の子ども食堂などでは大人も安価で利用できると思う。これ

らの成果を踏まえながら必要な支援を検討していく。
議員 全ての学校にエレベーターが必要な子どもが通えるようにエレベーターの全校設置を求める。設置



きらりいのちをめぐす
市民派・無所属・れいわ
伊沢けい子 議員



井口グラウンドに病院を誘致するな

答 病院設置と新たなグラウンド整備で防災・減災のまちづくりを推進する

議員 井口特設グラウンドへの病院誘致の事業者選定に当たって外部の有識者を中心とした選定委員会を設置しているが、透明性確保の観点から委員氏名を公表すべきではないか。

市長 委員への働きかけなどを防ぎ、公正、適正に選定するため、事業者選定後に公開する予定だ。

議員 誘致に当たり定期借地権で土地を貸し出すとのことだが、一事業者だけが公の土地を安く借りられることは不公平ではないか。



自民クラブ
太田みつこ 議員



三鷹駅前再開発を着実に進めよ

答 中央通り東地区再開発を契機とし魅力あふれるまちづくりを進める

議員 三鷹駅前地区のまちづくりを減速することなく進めてほしい。その中心となる三鷹駅南口中央通り東地区において、複数の地区に分けて段階的に整備を進めるメリットを伺う。

市長 再開発の始まりの号砲を鳴らすとともに、整備期間中のまちの機能維持や工事車両による地域交通への影響の抑制、UR賃貸住宅の先行整備による地権者の仮移転先の確保など、

様々な効果が期待できる。

議員 商業空間の魅力を高めることが再開発を成功に導く鍵となる。現在の課題をどう認識しているか。

市長 中央通り商店会が様々な独自事業を行っているが、駅前の全商店街が連携して取り組み、それを市が支援することが重要だ。

議員 三鷹駅前地区近隣の三鷹幼稚園が閉園する。緑

中長期的な展望に立った事業者支援を

答 刻々と変化する経済情勢を注視し業種特有の状況等も勘案し対応する

議員 コロナの影響や物価高騰などが市内事業者の安定経営を妨げる状況が続いており、継続的な支援制度の構築が必要だ。今後の事業者支援について伺う。

市長 業種特有の状況等も勘案しつつ、商店会支援の拡大や起業・創業環境の充実も検討したい。

議員 本市の不況対策緊急資金融資あっせん制度の売上高比較は1〜3年前が対象だが、コロナ禍前と比較できるようにするべきだ。

市長 比較対象年の範囲を含め、実態に合った制度設計を検討したい。



自民クラブ
吉野けんさく 議員



みんなの防災と連携し共助を推進せよ

答 市とNPOが相互に協力することで地域防災力の強化に取り組んでいく

議員 大規模災害時には行政自身が被災し機能がまひ

することがあるため、地域での自助・共助の取り組みが不可欠となる。NPO法人Mitakaみんなの防災の取り組みの成果について伺う。

危機管理担当部長 日常生活の中でできる防災対策の紹介など防災意識の啓発に取り組み、市民に防災に取り組むきっかけや更なる防災対策の機会を提供した。

議員 当該NPOは共助の担い手となる市民の育成等を目的としている。当該NPOと連携した本市の共助の取り組みについて所見を伺う。

市長 避難所運営等における共助は市が、隣近所の助け合いなどの共助はNPOが中心となって取り組むなど、共助の強化に向けて強く連携していくことが必要なものと考えている。



自民クラブ
池田 有也 議員



井口グラウンド利活用の早期実現を

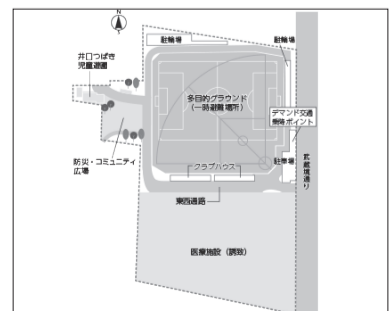
答 市民の期待に応えるため、より一層のスピード感をもって取り組みたい

議員 井口特設グラウンドの土地の利活用について地元2つの町会から地域医療拠点となる病院の誘致と芝生化されたグラウンドの整備の早期実現を求める要望書が提出されている。今後の取り組み方針を伺う。

市長 過去の経緯を含め丁寧な広報に努めることも一層のスピード感をもち取り組みたい。

議員 新グラウンドは災害時の一時避難場所となり、地域防災力の飛躍的向上も期待できる。防災都市づくりの点からの所見を伺う。

市長 公共的な医療サービスとともに安全安心を提供し、これまでグラウンドと無縁だった人たちにも満足してもらえると考える。



井口特設グラウンド土地利用のイメージ図